

二月十二日、ヒックス中尉來訪、圖書館を視察して参考書數十冊を借出して行つた。その種類は、産報、年鑑、新聞編劇など、あと兩三回、別人など來たか、口

シヤ關係書など、金まゐるようになった。

二月十九日、松村常務ヒックス氏を訪問、産報の調査を渡したか、満足したらく、協調會に援助してよいもめか、あ、申出て貰いたいといふことになった。

四月九日、民間情報教育局調査課のボックス氏來訪、時局對策委員會の速記録を見たといふ。こゝ以來産報に關する調査は詳細を極めたようになった。五月三日及
同日十一日には河原田元産報聯盟理事長と會見して聴取
した。また、断田元産報常務は、數回同氏から來訪を求

五日

めら、聴取をうけた由である。

四月十九日、余は松村常務とともにヒックス氏を訪問して、新年度計畫その他について説明したか、同氏は、
協調會自体が民主的でないといふ、不満の意を現わす。また役員や講師など、かつ労働運動者を入るべきといふ
の人名まで語った。また労働教育映画の作成にいくら補助
金を支出するかといふ質問した。この映画補助の話といふ
のは厚生省への申入れであつて、協調會は厚生省の依頼
で都下の映画関係者の會合を催した。その概要を英文に
してヒックス氏に示した。たけであつたので、目下その計
畫はないと答えた。大体においてこの日の會長は情勢
の逆轉を思わせるものがあった。そして後から見ると、

五〇七